



第52号

2025. 3月発行

〈発行〉
山形市子ども会
育成連合会

〈事務局〉
〒990-0047
山形市旅籠町2-3-25
山形市教育委員会
社会教育青少年課内
編集／文化部
印刷／(株)大風印刷



山形市子ども会育成連合会 会長 佐藤 博之

常日頃より子ども
会へのご理解とご協
力を賜り誠にありが
とうございます。

この度、三役で佐藤孝弘山形市長、金澤教育長
へ表敬訪問させていただきました。令和七年度の
事業計画並びに役員改選を含めてご説明をさせて
いただきました。また山形県子連主催の東北大会
が十一月一日に山形テルサで開催されること
もご報告いたしました。佐藤孝弘市長からは激励
のお言葉を頂戴し、三役全員で新年度に向けて決
意を新たにいたしました。経営していただきまし
た青少年課の佐藤課長に御礼申し上げます。

さて、おかげさまで令和六年度の事業をすべて
開催することができました。関係各位のご尽力に
感謝申し上げます。反省としては夏のかけっ
こリレー・駅伝大会が八月開催で、かなりの猛暑

ということもあり保護者の皆様にはご心配をおか
けしてしまいました。その後、三役・常任での協
議を経て令和七年度は夏の競技大会を十一月、冬
の競技大会を二月開催ということでスライドする
ことになりました。この場をお借りしまして皆様
にもご報告させていただく次第です。

私事で恐縮ですが、五月の総会を持ちまして役
員改選となり、私佐藤は会長を退任することとな
りました。これまで大変多くの方々よりご理解と
ご協力を賜りましたこと、この場をお借りしまし
て厚く御礼申し上げます。今後は若い世代
へと引き継ぎ、これまでに以上に活気ある山形子
連の活動を展開していただけるよう、陰ながら見
守って参りたいと思います。各学区の益々の発展
と関係各位並びに皆様のご健勝をお祈り申し上
げ、御礼の言葉とさせていただきます。



令和7年2月26日(水) 佐藤孝弘山形市長へ表敬訪問

令和6年度

山形市子ども育成連合会「秋の自然体験」

- 開催日：令和6年10月5日(土)・6日(日)
- 場 所：山形市少年自然の家
- 主 催：山形市子ども育成連合会
- 主 管：リーダー研修部
- 共 催：山形市・山形市教育委員会・山形市社会福祉協議会
- 参加者：小学生18名、育成者26名、計44名

活動内容

入所式・オリエンテーション・KYT研修・炊飯活動・野外活動（プロジェクトアドベンチャー）・キャンプファイヤー・モルック体験・感想文・終了証授与



令和6年度

山形市子ども育成連合会 リーダー研修会感想文

❖ 山形市立第二小学校

一年 松木 陽己

山で暮らすのは大変でしたが勉強になりました。一日目はカレーを作ったり泊まったり色々大変でも友達がいて良かったです。またやりたいと思っています。来年はもっと仲良くなりたいと思います。キャンプファイヤーで歌を歌ったり、夜空の星がきれいでした。

❖ 山形市立出羽小学校

五年 佐藤真果奈

一日目のプロジェクトアドベンチャーでは協力することが大事だと分かった。自分の知恵を出して課題をクリアできたので良かったです。

二日目のモルックでは、あまり点数を取れなかったし、この間もしたので途中で飽きたけど楽しかったです。

最初は上手くなじめるか心配だったけど、優しい班の人たちで良かったです。また行きたいと思いました。

❖ 山形市立南小学校

四年 鈴木 心優

自然について感じたことは、虫やはっぱがたくさんあったことです。一日目はプロジェクトアドベンチャーでチームワークを学べて、炊飯活動では班の人達と協力できて良かったです。二日目のモルックは、自分たちの班や他の班とできて良かったです。キャンプファ

イヤーも楽しかったです。また来年も行きたいです。

❖ 山形市立南沼原小学校

六年 佐藤 奎

自然について感じたことは、カメムシがたくさんいた。クモもたくさんいた。木の根っこがいろいろ見えた。歩いていたら靴の跡があつて、その中に同じ昆虫がたくさんくっついて丸くなって動いていた。朝起きたら窓がくもっていた。二日間過ごして結構体力を使った。夜に星が見えた。いつもだったらそんなに星が見えない。中学一年生になったら、友達とならまたここに来てでもいいと思う。二日目のモルツクで初めてやったけど、うまくできたと思う。班長がおもしろかった。楽しかった。

❖ 山形市立南沼原小学校

六年 伊藤 風凜

秋の自然体験会を体験して知ることができたのは、「プロジェクトアドベンチャー」で仲間を信頼し協力することです。その中の「川渡り」は特に協力できました。腕が届かないところにあるロープをどうやってとるのか考えた結果、みんなのジャンパーの腕の部分を結んでロープに引っかけるという作戦でした。そしたらうまくいきました。これはみんなの協力がなくてできない

なと思いました。仲間の良いところでは、班長の鈴木晴善君が班のみんなをまとめていたこと、火をおこすのが上手だったことでした。班目標では「楽しく安全な班にしよう」でしたが、その班目標を達成することができました。「プロジェクトアドベンチャー」で楽しく安全に取り組むためにどうしたらいいのかを考えながら行動することができて良かったです。秋の自然体験会に来て良かったです。

❖ 山形市立南沼原小学校

六年 鈴木 晴善

この二日間はすごく自然を体験できました。昨年僕と風凜君はこの自然体験学習に来ました。学校で行ったり自分で行ったりしました。風凜君と奎君と今回来て僕は炊飯活動やプロジェクトアドベンチャーでみんな協力したりがんばれたりしました。次に中学一年生になるので自然体験学習には行けませんがんばっていききたいです。

一生忘れない思い出になりました。お父さんとお母さんが今回来ってくれました。自然の家の人達や育成者さん達に力を貸してもらいすごく楽しい思い出になりました。

❖ 山形市立南沼原小学校

四年 稲毛 深織

一日目のプロジェクトアドベンチャー

では協力・チームワークを学ぶことができました。キャンプファイヤーの時も盛り上がりつつ楽しんでいたのでまた行きたいです！次はプラネタリウムをしたいです。自然ともたくさんふれあうことができました。

❖ 山形市立南沼原小学校

五年 井上 環菜

入所式の最初の時は少し不安だったけれど、知恵の輪をやれて楽しかったです。班ミーティングでは、松本陽己君がすぐに班長になりたいと言っていたのすごいと思いました。自己紹介では、みんなの好きな物が知れたので良かったです。炊飯活動では、班の全員と協力してカレーが作れたのいいと思いました。プロジェクトアドベンチャーで、最初の丸太でござるで、考えながらできたので良かったです。ジャイアントシーソーでは、何もしなければ大丈夫なのが知れて良かったです。川渡りでは、みんなが靴を投げていたので面白かったです。クモの巣くぐりでは気付かないところにぶつかっていて難しかったです。キャンプファイヤーでは、火の大切さやきれいさも見られたので良かったです。野外活動では、モルツク体験で最高で六点もとれたのでうれしかったです。この二日間ありがとうございました。

❖ 山形市立南沼原小学校

一年 藤原 琴愛

初めて体験したことばかりでとても楽しかったです。みんな協力して作ったカレーはおいしかったです。プロジェクトアドベンチャーは、難しかったけどがんばれました。キャンプファイヤーの火がとてもきれいでした。二日間たくさんさんのことを経験できて本当に参加して良かったです。ありがとうございました。

❖ 山形市立第二小学校

四年 伊藤 空煌

自然体験で見たことのない公園しかなかった。キャンプファイヤーで歌って気持ち良かったです。プロジェクトアドベンチャーは最初は何があるか楽しみで、どんなのか見てみたら丸太とでっかいシーソーがあつてびっくりしました。クモの巣くぐりはクリアできてうれしかったです。

❖ 山形市立第七小学校

一年 瀬野 希

プロジェクトアドベンチャーが楽しかったです。給食がおいしかったです。今度来たときはプラネタリウムを見たいです。モルツクが難しかったです。プロジェクトアドベンチャーのジャイアントシーソーが楽しかったのとクモの巣くぐりと丸太でござるが難しかった

たです。カレーがおいしかったです。キャンプファイヤーが楽しかったです。

◆山形市立東小学校

六年 菊地 咲衣

一日目のアスレチックやカレー作りはみんなで協力して取り組むことができて良かったです。カレー作りでは係を分担しておいしくカレーができました。アスレチックで特に楽しかったのは、橋渡りです。指示をする人や譲ってあげる人がいて優しさを感じました。食堂のご飯もとてもおいしかったです。二日目は朝ラジオ体操をしました。そしてモルックをして、頭も体も使うことができました。このたくさん学習を通して思ったことは、初めて会った人でも協力して仲を深められることです。自然体験会をしてたくさんの友達ができました。次はプラネタリウムに行きたいです。

◆山形市立東小学校

六年 小林 明里

この自然体験会でいろんな植物があつて自然でも協力して団結すれば過ごせるんだなと思いました。みんなで楽しくできて良かったです。自然をよく知れて良かったと思いました。班目標の「楽しく協力して」をできたので良かったです。秋の自然体験ではみんなと楽しく過ごせて良かったと思います。

した。来年は中学生になって来れないかもしれないけど、楽しかったのもまた来年も来たいと思いました。

◆山形市立南沼原小学校

二年 渡辺 惺也

キャンプファイヤーで火がきれいだと思います。来年も絶対行きます。

◆山形市立南小学校

五年 小林 拓翔

まず自然について感じたことは、自然は危険だけど楽しいと思いました。危険なのは熊や虫などの山の生き物です。楽しいと思ったのは、プロジェクトアドベンチャーです。プロジェクトアドベンチャーは仲間と一緒にするものなので、みんなと仲を深められたことです。カレー作りでは、電気やガスがないとカレー作りはこんなに大変なんだなと思いました。プロジェクトアドベンチャーでは、仲間のみんながすぐ作戦を立ててそれをすぐ実行しているのが良いと思いました。カレー作りの時に、僕は火の係で火をつけるのが難しかったけど、仲間がいてくれたおかげで火をつけられて、カレーを作ることができました。仲間は大切だとわかりました。

班目標は「協力してケガなく楽しい自然体験学習にしよう」でした。「協力して」の部分は、プロジェクトアドベン

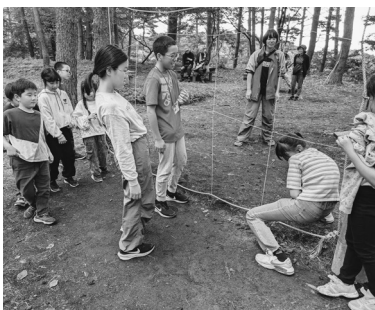
チャーでみんなと一緒にクリアしたり、カレー作りで協力できたので良かったです。「ケガなく」の部分は、プロジェクトアドベンチャーでみんなで支え合つてケガなくできたし、自由時間の時にも気を付けてケガなくできたので良かったです。「楽しく」の部分は、二日目のモルックで負けちゃったけど協力できて楽しくできたので良かったです。最後にキャンプファイヤーでじっくり火を観察できたり、「マイムマイム」を踊ったりみんなで歌ったりして楽しかったです。

◆山形市立第二小学校

四年 伊藤瑠綺空

私が自然体験会を体験して、初めてで緊張しましたが六年生達が元気だったので、私は緊張が解けました。プロジェクトアドベンチャーでは、まず丸太でござるをしました。丸太でござる

は移動しないといけないのでそこが難しかったです。でも六年生達は、「しゃがんで」と言って隙間をあけていたのがカッコいいと思いました。次にジャイアントシーソーで、先生から「女子と男子で分けてやって」と言われましたが、バランスが難しく、一斉に行ったらいいと言って、それでクリアできました。次に川渡りで真真中にロープがあつて、それをどうやって取ればいいのか考えて、靴を投げて取れました。最初に六年生が行って、次に一年生五年生が行って、最後に六年生が行って、クリアできました。六年生の活躍でできました。クモの巣くぐりでは、四角いところを通つてからちよつと上を通つて、一年生を抱っこして六年生がまた活躍してすごいと思いました。そしてご飯がおいしかったです。六年生の活躍がすごいと思いました。私も六年生になったら活躍したいです。



第65回冬の競技大会 第2回イブニングロータリークラブ杯モルック競技会

令和6年12月1日(日)山形県体育館(霞城公園内)において、イブニングロータリークラブ様の協賛を頂き、第2回モルック競技大会が開催されました。

モルックとは、フィンランドの伝統的なゲームを元に、老若男女が楽しめるものとして考えられたアウトドアスポーツです。

山形市内の各学区から100名の参加児童が27チームに分かれ、手に汗握る熱い試合を繰り広げてくれました。一投一投に子ども達の真剣な眼差し、保護者の熱い声援、そして笑顔が溢れる大会となりました。

大きな事故がなく終了できたことを喜ぶとともに、審判員のご協力を頂いた山形駅前モルック会の方々はじめ、運営関係者、保護者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

大会結果は以下の通りです。

優勝 高瀬Bチーム
準優勝 南Eチーム
第3位 南Bチーム
100点ピタリ賞
高瀬B・蔵王第一



協賛 山形イブニングロータリークラブ／山形駅前モルックの会

東部ブロックモルック体験会

2024年11月24日(日)きらやかスタジアム屋内練習場にて、東部ブロックモルック体験会が開催されました。

以前はドッジボール大会が行われていましたが、市子連のモルック大会に向けての練習会を兼ねて、鈴川、楯山、高瀬、東小の各学区から30名近い子供達が参加しました。

モルックを初めてやる子供も多く、ルールを教えてもらいながらも競技にのめり込んで楽しんで頂けたと思います。

開催にあたり鈴川地区を中心とした実行委員会の方々、応援して頂いた保護者・育成者の皆様、ご協力ありがとうございました。



第54回東北地区子ども会育成研究協議会 秋田大会

令和6年11月2日(土)～3日(日) 大湯温泉ホテル鹿角

テーマ「地域の未来をつくる子ども会活動」



「地域の未来をつくる子ども会活動」をテーマに東北地区子ども会育成研究協議会秋田大会が開催されました。参加者は東北各県の子ども会指導者や育成者、表彰者など約120名。

開会式では全子連・美田会長が子ども会の可能性と必要性について活発な議論を期待するとあいさつ。各県の団体・個人の表彰式が行われた。NPO法人ファミリーネットワーク理事長・村岡昇による基調講演では、更生保護の働きに関わった一人の成長していく姿の講話から、学校・家庭・地域の連携の大切さを学びました。

分科会は3つのテーマ毎に開かれ、私は第一分科会に参加。少子化で抱える各地域の課題や活性化に向けた対策などをグループ代表として発表させていただきました。

情報交換会はユネスコ無形文化財「花輪ばやし」のアトラクションや秋田県子連・湊屋会長が熊鍋を振舞うなど、各県の仲間と交流を深めました。次回の第55回大会は今年、山形市で開かれます。多くの皆様に参加していただき、山形大会を盛り上げていただければ幸いです。

副会長 小笠原

山形市子ども会育成連合会 第2回常任委員会・新年会報告

日時：令和7年1月25日(土)

場所：山形市総合福祉センター交流ホール



令和6年度山形市子ども会育成連合会の第2回常任委員会及び新年会を1月25日(土)、山形市総合福祉センターで開催しました。

常任委員会では会長、各専門部からの活動報告や中間会計報告などが行われました。その後、山形市子ども会育成連合会 創立65周年記念 新春子育て講演会が開催され、東北文教大学 人間科学部 人間関係学科 准教授 永盛善博氏より「子ども会活動と子どもの成長～これからの時代を生き抜く力を育てるために～」のテーマのもと、ご講演いただきました。

この度、常任委員会の開催に合わせて初めての企画・開催でしたが、多くの育成者の方々にご参加いただき、子どもたちがこれからの時代を生き抜くために必要なヒントや保護者として行うべき多様な子育ての在り方などを学ばせていただきました。

新年会ではリラックスした雰囲気の中で、活動の振り返りやこれからの子ども会活動への思いなどを語りながら親睦を深める有意義な会になりました。

子ども会安全共済会に入ろう！

①加入対象者

- 子ども会会員(乳幼児・小学生・中学生・高校生)
- 育成者・指導者

②安全共済会費

- 一人当たり年額 230円(子ども・大人共)

③給付内容

- 死亡共済金 600万円
- 後遺障害共済金 後遺障害の程度に応じて7万円～600万円
- 医療共済金 健康保険等を適用した医療費総額の30%(支払限度額50万円)

子ども会安全共済会は子ども会活動を安心して行なうために、子ども会が主催する活動における事故等の怪我や疾病等について補償し、青少年の健全な育成と福祉の増進に資することを目的としています。



◆施設所有者賠償責任保険

- | | | |
|------|--------|---------------|
| 身体障害 | 1名につき | 1億円(免責金額なし) |
| | 1事故につき | 5億円(免責金額なし) |
| 財物損壊 | 1事故につき | 200万円(免責金額なし) |

◆受託者賠償責任保険

- | | | |
|------|--------------|---------------------|
| 財物損壊 | 1事故・保険期間中につき | 1,000万円(免責金額3,000円) |
|------|--------------|---------------------|

編集後記 「かがやく瞳第52号」をご覧くださいありがとうございました。

今年度は、夏のかけっこリレー駅伝大会、山形市少年自然の家でのリーダー研修会、モルック大会等の活動を無事開催することができました。これらの活動を通じ、数多く参加した子ども達の笑顔に喜びを感じた一年間であります。

次世代を担う子ども達が健やかに育っていくための活動を引き続き行っていくしますので、これからも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

文化部副部長 鹿野 直人



編集委員 会長 佐藤博之(第六)・副会長 安達恭一(鈴川)・部長 亀井千夏(南沼原)・副部長 鹿野直人(鈴川)
吉田暢子(西)・八鍬 卓(南)・鈴木拓也(東沢)・小川浩幸(南)・今井隆裕(南)・謝花 斉(東)
前田浩一(南沼原)・佐藤 拓道(蔵王一)